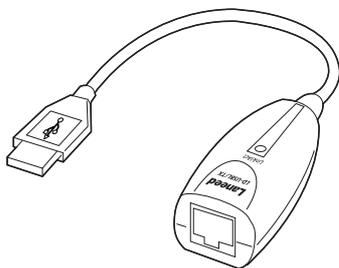


Ethernet Adapter

USBポート対応10/100Mbpsイーサネットアダプタ

LD-USBL/TX



必ずお読みください	P1~10
取り付け	P10
Windows XPでのセットアップ	P11~20
Windows Meでのセットアップ	P21~23
Windows 98でのセットアップ	P24~28
ピア・ツー・ピアでの設定	P29~34
Windows 2000でのセットアップ	P35~45
必要に応じてお読みください	P46~54

User's Manual

LD-USBL/TX

User's Manual

ユーザーズマニュアル

■ はじめに ■

この度は、弊社ラニードのUSBポート対応の10/100Mbpsイーサネットアダプタ"LD-USBL/TX"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-USBL/TX"をコンピュータに導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客様が安全に"LD-USBL/TX"を扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて"LD-USBL/TX"を「本製品」と表記しています。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

本製品は第一種情報装置(商工業地域で使用される情報装置)で、商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)に準拠しています。したがって、住宅地またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。このマニュアルの説明に従って正しくお取り扱いください。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきます。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
	キーボード上のキーを表わします。

安全にお使いいただくために

Laneed

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警告

 本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

注意

 本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

 本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

 本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺

導入の手順フロー

Laneed

※Windows 2000の手順フローは次ページ

Windows XPの場合

パッケージの内容を確認します。
➡P6

作業の前に注意事項をお読みください。
➡P2

本製品を取り付けます。➡P10

プラグ&プレイ機能により、本製品が検出されます。

本製品に付属のドライバディスクをドライブにセットし、メッセージに従いドライバをインストールします。
➡P11～

ご使用の環境に合わせて、サービス、プロトコルなどのセットワーク設定をおこないます。
➡P14～※

フォルダやプリンタを共有する場合は、共有設定をおこないます。このとき、各共有設定にアクセス権の設定をします。
➡P19※

※この内容は設定例です。実際にご使用にあるネットワーク環境に合わせて設定してください。

導入後は、ユーザ登録(➡P7参照)をおこなってください。

Windows Me/98の場合

パッケージの内容を確認します。
➡P6

作業の前に注意事項をお読みください。
➡P2

本製品を取り付けます。➡P10

プラグ&プレイ機能により、本製品が検出されます。

本製品に付属のドライバディスクをドライブにセットし、メッセージに従いドライバをインストールします。
・Windows Meの場合 ➡P21～
・Windows 98の場合 ➡P24～
※Windows 98の場合、Windows CD-ROMが必要ことがあります。

ご使用の環境に合わせて、サービス、プロトコルなどのセットワーク設定をおこないます。
➡P29～※

フォルダやプリンタを共有する場合は、共有設定をおこないます。
➡P34※

Windows 2000の場合

パッケージの内容を確認します。
➡P6

作業の前に注意事項をお読みください。
➡P2

本製品を取り付けます。➡P10

プラグ&プレイ機能により、本製品
が検出されます。

本製品に付属のドライバディスクを
ドライブにセットし、メッセージに
従いドライバをインストールしま
す。➡P35～

ご使用の環境に合わせて、サービス、
プロトコルなどのセットワーク設定
をおこないます。➡P39～※

ほかのコンピュータからアクセスで
きるようにユーザーアカウントを登
録します。➡P44※

フォルダやプリンタを共有する場合
は、共有設定をおこないます。この
とき、各共有設定にアクセス権の設
定をします。➡P45※

※この内容は設定例です。実際にご使用にあるネットワーク環境に合わせて設定してください。

導入後は、ユーザ登録(➡P7参照)をおこなってください。

もくじ

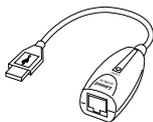
安全にお使いいただくために	2
導入の手順フロー	3
もくじ	5
1. パッケージの内容を確認する	6
2. 製品の保証とユーザ登録	7
3. 本製品の概要について	8
・本製品の特長	8
・本製品の動作環境	9
・各部の名称とはたらき	9
4. 本製品の接続方法	10
5. Windows XPでのセットアップ	11
・ドライバのインストール	11
・サービスとプロトコルの確認	14
・ネットワークの設定例	16
・共有フォルダの設定	19
6. Windows Meでのセットアップ	21
7. Windows 98でのセットアップ	24
8. ピア・ツー・ピアでの設定	29
9. Windows 2000でのセットアップ	35
・ドライバのインストール	35
・ネットワーク設定例	39
・ユーザ・アクセス権の設定	44
・共有フォルダの設定	45
10. アダプタのプロパティ	46
11. こんなときは	48
12. サポートサービスについて	52
13. 基本仕様	54

1 パッケージの内容を確認する

Laneed

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

●イーサネットアダプタ



●ドライバディスク (フロッピーディスク 1枚)



●ユーザズマニュアル 1冊 (このマニュアルです)



●ユーザ登録カード 1枚



●保証書 1枚



2 製品の保証とユーザ登録

Laneed

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。
・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

52ページ「修理の依頼」をお読みください。

●その他のご質問などに関して

52ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

ユーザ登録

製品の導入が完了したらユーザ登録をおこなってください。お客様のユーザ登録は、インターネットからのオンライン登録または付属のハガキで登録することができます。

●オンラインでの登録

弊社ラニード・ホームページから登録が可能です。
ホームページアドレス：<http://www.elecom.co.jp>

●付属のユーザ登録カードでの登録

必要事項をご記入の上、ご投函ください。品番とシリアル・ナンバーは控えておいてください。

3 本製品の概要について

Laneed

本製品の特長

●世界標準USBポートを使ってイーサネットに接続

中低速デバイスの標準インターフェイスとして登場したUSB(Universal Serial Bus)インターフェイスに接続して使えるイーサネットアダプタです。伝送速度は10BASE-Tだけでなく100BASE-TXにも対応しています。

●USB対応だから拡張スロット、PCカードスロットの空きスロットが不要
USBポートに接続するタイプなので、コンピュータ本体のケースを開けて拡張スロットに取り付ける必要はありません。ブロードバンドモデムとコンピュータを接続するためのアダプタなどにも簡単に利用できます。また、PCカードスロットに空きがないモバイルコンピュータでもUSBポートからネットワークに接続できます。

●プラグ&プレイでインストールも簡単

USBインターフェイスを採用していますので、本製品を接続後、コンピュータ本体の電源をONにすると、自動的にドライバインストールのウィザードが起動します。あとは、付属のドライバディスクを入れるだけで簡単にインストールできます。導入時に一度だけライブをインストールしたら、その後は自動的にドライバが認識されます。

※Windows 98ではOSのCD-ROMが必要ことがあります。

●コンピュータの電源がONのまま取りはずしが可能

ホットプラグに対応しますので、コンピュータ本体の電源を入れたままで本製品を抜き差しすることができます。必要なときだけ本製品を接続してネットワークに接続することができます。コンピュータ本体の電源を入れたままでの複数回の抜き差しも可能です。

※ネットワーク設定によっては、起動時に必ず接続しておく必要がある場合があります。

外部機器との接続状態を示します。

緑色で点灯：100BASE-TXでリンクが確立しています。
緑色で点滅：100BASE-TXでデータを送受信しています。
オレンジ色で点灯：10BASE-Tでリンクが確立しています。
オレンジ色で点滅：10BASE-Tでデータを送受信しています。

本製品の動作環境

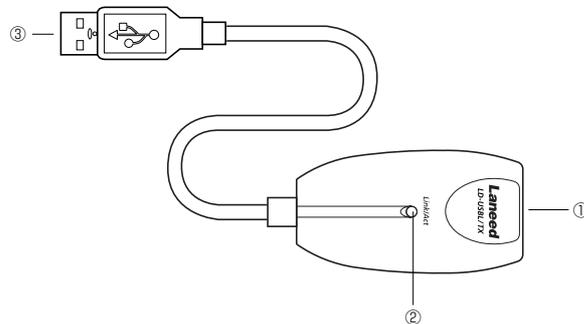
本製品は次の動作環境に対応しています。

対応機種	PC/AT互換機(DOS/Vマシン)およびNEC PC98-NXシリーズでUSBポートを持つ機種(自作機は除く)
対応OS	Windows XP, Windows Me, Windows98, Windows 2000

※最新の動作環境は弊社ホームページ(<http://www.elecom.co.jp>)をご覧ください。

※Windows 95には対応しておりません。

各部の名称とはたらき



①	RJ45ポート	10BASE-Tまたは100BASE-TXのイーサネットケーブルを接続します。
②	LEDインジケータ(Link/Act)	HUBなどの外部との正常に接続され、リンクが確立しているときに緑色に点灯します。また、データを送受信しているときに点滅します。
③	USBコネクタ	コンピュータ本体のUSBポートなどに接続します。

4 本製品の接続方法

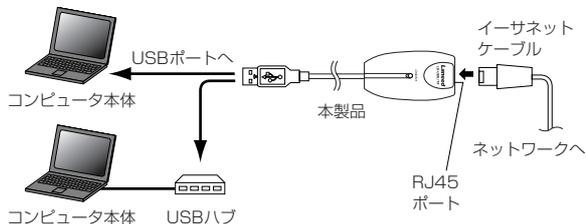
Laneed

本製品の接続方法について説明します。本製品はホットプラグ機能に対応しますので、コンピュータ本体の電源を入れたまま接続することもできます。



はじめて接続するときにドライバをインストールしてください
本製品を使用するには、ドライバのインストール作業が必要です。本製品をはじめて接続すると、WindowsのシステムがUSBドライバのインストールメッセージを表示します。手順に従ってドライバをインストールしてください。2回目以降は、本製品を接続するとインストールされたドライバにより自動的に認識されます。

- 1 本製品のUSBコネクタをコンピュータ本体またはコンピュータに接続されたUSBハブに接続します。ネットワークからのイーサネットケーブルをRJ45ポートに接続します(コンピュータ本体のUSBポートに接続することを推奨します)。



- 2 コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動します。



MEMO 本製品はホットプラグ機能に対応しますので、先にWindowsが起動した状態で、本製品を接続してもかまいません。

- 3 新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示されます。

このあとは、ご使用のOSに合わせてドライバをインストールします。

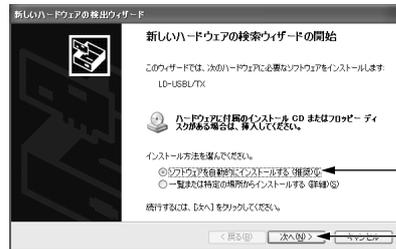
5 Windows XPでのセットアップ

Laneed

はじめて使用するときはドライバのインストール作業が必要です。Windowsを起動した状態で本製品をコンピュータに接続すると、Windowsのシステムがインストールメッセージを表示します。付属のフロッピーディスクをご用意のうえ、手順に従ってドライバをインストールしてください。

ドライバのインストール

- 1 本製品をはじめてコンピュータに接続したときに、新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示されます。
- 2 付属のフロッピーディスクをドライブに入れます。
- 3 「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



MEMO ご使用の環境によっては、フロッピーディスクをドライブに入れると自動的に手順 4 の画面に進む場合があります。

- 4** 下記のような画面が表示された場合は、「**続行**」ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。



- ・このドライバについては、弊社にてWindows XP上で正常に動作することを検証しております。

- 5** しばらくすると、インストールが完了したことを知らせるメッセージが表示されますので、「**完了**」ボタンをクリックします。

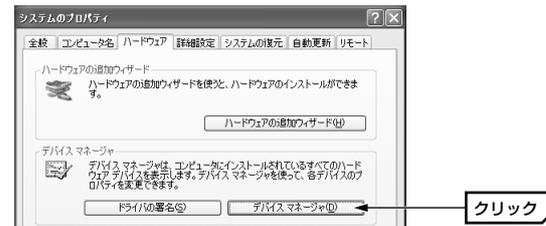


- ・フロッピーディスクをドライバから取り出して大切に保管してください。

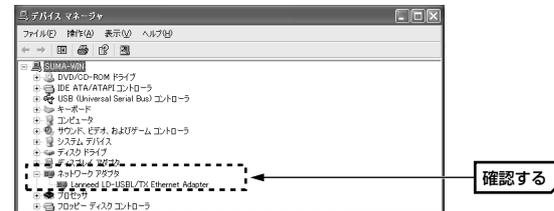
- 6** 次の手順でデバイスマネージャを表示します。

- ①[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]にカーソルを合わせます。
- ②マウスを右クリックし、ポップアップメニューから[プロパティ]を選択します。(システムのプロパティ) 画面が表示されます。

- ③【ハードウェア】タブを選択し、「**デバイスマネージャ**」ボタンをクリックします。



- 7** 「ネットワークアダプタ」の「+」をクリックし、「Laneed LD-USBL/TX Ethernet Adapter」が表示されることを確認します。



- ・他の名称が表示されたり×マークや！マークが付いているときは正常にインストールが完了していません。48ページ「こんなときは」をお読みください。

- これでWindows XPへのドライバのインストールは完了です。このあと、お使いのネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。

次ページ以降の「サービスとプロトコルを確認する」～「共有フォルダの設定」ではネットワークの設定例を説明していますので参考にしてください。

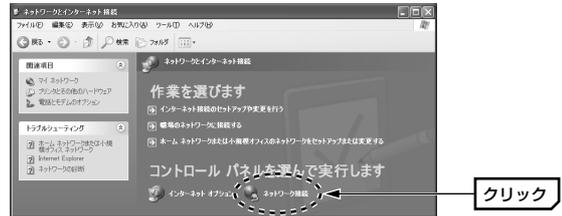
サービスとプロトコルの確認

ネットワークに接続するために必要なサービスとプロトコルが設定されているか確認します。ここでは小規模なネットワークでデータのやり取りやインターネットに接続するための一般的な例を説明します。

- 1** [スタート]→[コントロールパネル]を選択します。次に、コントロールパネルにある「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



- 2** <ネットワークとインターネット接続>画面で「ネットワーク接続」をクリックします。



- 3** 「ローカル エリア接続」を選択し、[ファイル]メニュー→[プロパティ]を選択します。



・【ローカルエリア接続のプロパティ】画面が表示されます。

- 4** お使いのネットワーク環境に応じて、必要なサービスやプロトコルが有効になっているか確認します。



・「接続の方法」に「Lanbased LD-USBL/TX Ethernet Adapter」と表示されない場合、ドライバが正常にインストールされていない可能性があります。インストールをやり直してください。

MEMO 一覧に表示されていないプロトコルやサービスを使う場合は、**インストール** ボタンをクリックし、メッセージに従って操作します。

MEMO

DHCPサーバ機能がない環境でTCP/IPを使用するときはインターネットに接続するために使用するルータなどには、IPアドレスを自動的にネットワーク機器に割り当てるDHCPサーバ機能があります。しかし、DHCPサーバ機能を使用しない場合や特定のIPアドレスを割り当てる必要がある場合は、次の手順で設定してください。

- ①「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、**「プロパティ」** ボタンをクリックします。
- ②「次のIPアドレスを使う」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

① IPアドレスを自動的に取得する	
② 次の IP アドレスを使う	
IP アドレス	192 168 1 11
サブネット マスク	255 255 255 0
デフォルト ゲートウェイ	1

- 5** 【ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ】画面の **「OK」** ボタンをクリックします。

これで、サービスとプロトコルの確認ができました。

ネットワークの設定例

ここでは、LAN上の他のコンピュータとファイルやプリンタを共有するための設定例について説明しています。インターネットに接続するための設定については、お使いのルータなどの取扱説明書をお読みください。

- 1** [スタート]→[コントロールパネル]を選択します。次に、コントロールパネルにある「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

- 2** 「ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する」をクリックします。



- 3** ネットワークセットアップウィザードの「ネットワークセットアップウィザードの開始」画面が表示されたら、**「次へ」** ボタンをクリックします。

- 4** 「続行する前に…」画面の説明を読み、ネットワークに接続するための準備ができているか確認し、**「次へ」** ボタンをクリックします。

- 5** 「接続方法を選択してください。」画面で、実際にご使用の環境に合わせて接続方法を選択し、**「次へ」** ボタンをクリックします。

MEMO

ご使用のネットワークがインターネットに接続していない場合は、「その他」を選択し、**「次へ」** ボタンをクリックします。この場合、「ほかのインターネット接続の方法…」画面が表示されますので、「インターネットに接続していないネットワークに属している」を選択し、**「次へ」** ボタンをクリックします。そのあと手順 **6** へ進みます。

- 6** 「このコンピュータの説明と名前を入力してください」画面が表示されたら、[コンピュータの説明]と[コンピュータ名]を入力し、**「次へ」** ボタンをクリックします。

コンピュータの説明	コンピュータを所有している部署や設置場所の名前など、コンピュータに関する簡単な説明文を入力します。
コンピュータ名	このコンピュータに付ける名前を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。

- 7** <ネットワークの名前を付けてください>画面で、[ワークグループ名]を入力し、**次へ** ボタンをクリックします。



ワークグループ名	このコンピュータを接続するネットワークのグループです。プリンタやファイルを共有する同じネットワーク上のコンピュータには、すべて同じワークグループ名を付けます。
----------	---

- 8** <ネットワーク設定を適用する準備ができました>画面で設定を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。

- 9** <もう少しで完了です>画面が表示されます。ご使用になっている環境に合わせてオプションを選択し、**次へ** ボタンをクリックします。

- ・「ネットワークセットアップディスク」を作成すると、そのディスクを使って他のコンピュータのネットワーク設定を簡単におこなうことができます。
- ・よくわからない場合は「ほかのコンピュータでウィザード・・・」を選択してください。

- 10** <ネットワークセットアップウィザードの完了>画面で、**完了** ボタンをクリックします。

- 11** 再起動を促すメッセージが表示されたら、**はい** ボタンをクリックします。

コンピュータが再起動し、ネットワークの設定が有効になります。

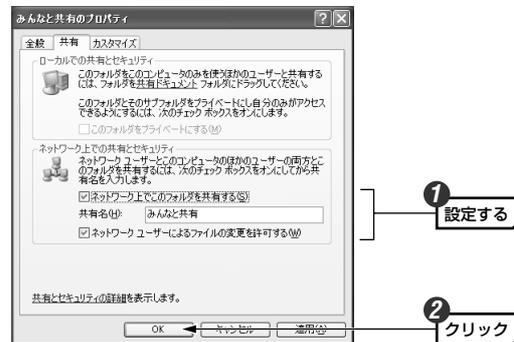
共有フォルダの設定

ネットワーク上の他のコンピュータから、このコンピュータのフォルダにアクセスできるようにするには、フォルダごとに共有とセキュリティの設定をする必要があります。

MEMO マイコンピュータには、「共有ドキュメント」という共有フォルダが自動的に作成されます。ここでは任意に設定したフォルダを共有化する説明をします。

- 1** 共有したいフォルダを右クリックし、メニューから[共有とセキュリティ]を選択します。

- 2** [ネットワーク上での共有とセキュリティ]の項目を設定し、**OK** ボタンをクリックします。



ネットワーク上でこのフォルダを共有する	他のコンピュータからこのフォルダにアクセスできるようにするには、この項目を有効にします。
共有名	他のコンピュータでは、ここで設定したフォルダ名が表示されます。
ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する	他のコンピュータのユーザーがこのフォルダ内のファイルを変更できるようにするには、この項目を有効にします。

これで、他のコンピュータからこのフォルダにアクセスできるようになりました。

MEMO 同じようにLAN上のコンピュータに接続されたプリンタを共有することもできます。

- ① プリンタが接続されたコンピュータで[スタート]→[コントロールパネル]を選択し、コントロールパネルにある「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
- ② 「プリンタとFAX」をクリックします。
- ③ 共有したいプリンタのアイコンを右クリックし、メニューから[共有]を選択します。

6 Windows Meでのセットアップ

Lanedit

はじめて使用するときは、ドライバのインストール作業が必要です。Windowsを起動した状態で本製品をコンピュータに接続すると、Windowsのシステムがインストールメッセージを表示します。手順に従ってドライバをインストールしてください。

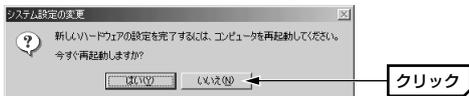
- 1** 本製品をはじめてコンピュータに接続したときに、新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示されます。
- 2** 付属のフロッピーディスクをドライブに入れます。
- 3** 「適切なドライバを自動的に検索する」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。ドライバのインストールが始まります。



- 4** 新しいハードウェアのインストールが完了したことを知らせるメッセージが表示されますので、**完了** ボタンをクリックします。



- 5** コンピュータを再起動するようにメッセージが表示されます。ここでは**いいえ** ボタンをクリックします。

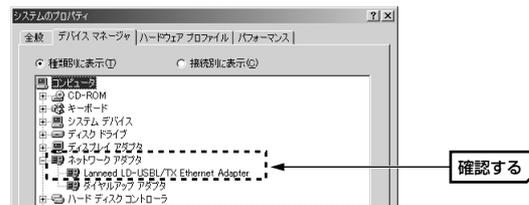


・フロッピーディスクをドライブから取り出して大切に保管してください。

- 6** デスクトップにある「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、メニューから**プロパティ**を選択します。



- 7** <システムのプロパティ> 画面が表示されます。【デバイスマネージャ】タブにある「ネットワークアダプタ」の**+**をクリックし、「Lanreed LD-USB/LTX Ethernet Adapter」が表示されることを確認します。



・他の名称が表示されたり×マークや！マークが付いているときは正常にインストールが完了していません。48ページ「こんなときは」をお読みください。

MEMO ネットワークアダプタに「ダイヤルアップアダプタ」が表示されている場合がありますが、これはアナログモデム/TA用でイーサネットアダプタとは関係ありません。

これでWindows Meへのドライバのインストールは完了です。このあとはお使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。29ページからピア・ツー・ピアの設定がありますので参考にしてください。

MEMO Windowsを再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。[ユーザ名]と[パスワード]が表示されます。[ユーザ名]が空白の場合は入力します。パスワードは必要であれば入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

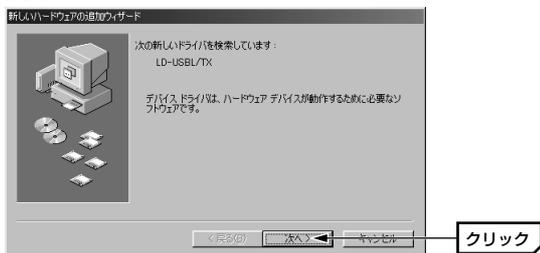
7 Windows 98でのセットアップ

Laneed

はじめて使用するときは、ドライバのインストール作業が必要です。Windowsを起動した状態で本製品をコンピュータに接続すると、WindowsのシステムがUSBドライバのインストールメッセージを表示します。手順に従ってドライバをインストールしてください。

1 本製品をはじめてコンピュータに接続したときに、新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示されます。

2 ドライバを検索する画面が表示されますので、**次へ** ボタンをクリックします。



・ 検索方法を選択する画面が表示されます。

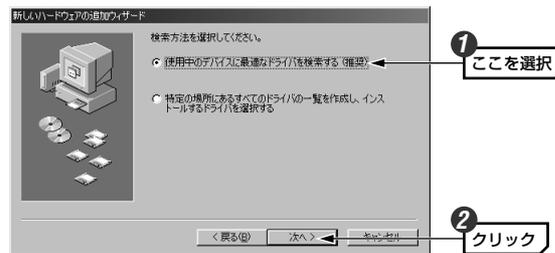
7. Windows 98でのセットアップ

- MEMO** コンピュータ名、ワークグループ名の入力を促されたとき
- ① [コンピュータ名]の入力を促すメッセージが表示されますので **OK** ボタンをクリックします。
 - ② 【識別情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力してください。入力が終われば **OK** ボタンをクリックします。



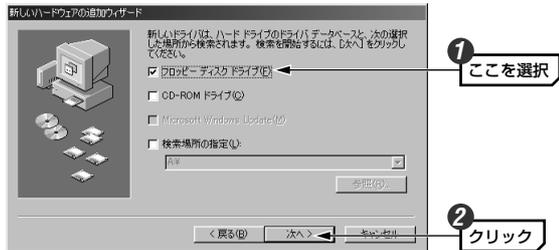
コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ネットワーク名	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じにする必要があります。

3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



4 付属のドライバディスクをドライブに入れます。

5 「フロッピーディスクドライブ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



6 ドライバのある場所が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



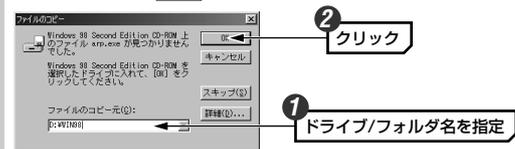
7 お使いの環境によっては、Windows 98のCD-ROMを挿入するようにメッセージが表示されます。



※ご使用の環境によってはWindows 98の場合もあります。

・Windows 98 SECOND EDITION(またはWindows 98)のCD-ROM ディスクをCD-ROM ドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。

MEMO 次のような画面が表示された場合はCD-ROMを入れたドライブの「WIN98」フォルダを指定し、「OK」ボタンをクリックします。



・ドライブ名のあとに必ず「WIN98」ディレクトリを指定します。

(例)CD-ROMドライブがDドライブの場合(小文字でも可)

D: ¥WIN98

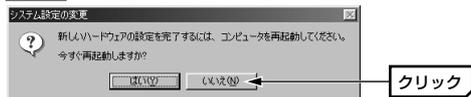
MEMO すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。この場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようしてください。

8 インストールが完了したことを知らせるメッセージが表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



- 9** コンピュータを再起動するようにメッセージが表示されます。ここでは

いいえ ボタンをクリックします。



・フロッピーディスクおよびCD-ROMをドライブから取り出し、大切に保管してください。

- 10** 22ページからの手順 **6** **7** を参考に本製品が正常に認識されていることを確認します。

これでWindows Meへのドライバのインストールは完了です。このあとはお使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。次ページからピア・ツー・ピアの設定がありますので参考にしてください。

MEMO Windowsを再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。[ユーザ名]と[パスワード]が表示されます。[ユーザ名]が空白の場合は入力します。パスワードは必要であれば入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

8 ピア・ツー・ピアでの設定

Lanneed

Windows Me/98の小規模ネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア環境の設定例を説明します。画面例はWindows Meを使用していますがWindows 98でもほとんど同じです。ブロードバンドでモデムと接続するために本製品を使用する場合は、契約プロバイダの説明書をお読みください。

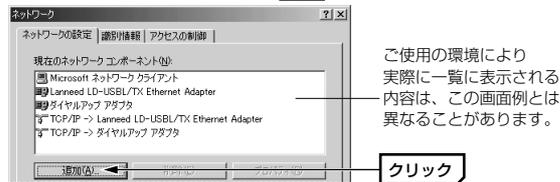
- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルにある「ネットワーク」をダブルクリックします。



ネットワーク

- ・〈ネットワーク〉画面が表示されます。
- ・Windows Meでよく使うコントロールパネルだけが表示されている場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると「ネットワーク」が表示されます。

- 2** 【ネットワークの設定】タブにある **追加** ボタンをクリックします。



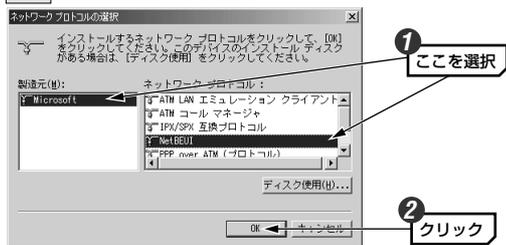
- 3** インストールするネットワークコンポーネントとして「プロトコル」を選択し、**追加** ボタンをクリックします。



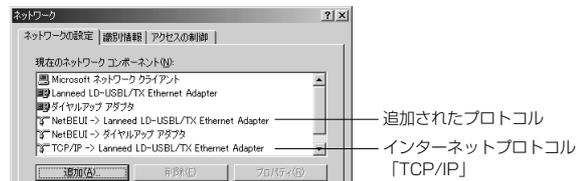
- ・〈ネットワークプロトコルの選択〉画面が表示されます。

- 4** 製造元で「Microsoft」を、プロトコルで「NetBEUI」を選択します。

OK ボタンをクリックします。



- 5** プロトコルが追加されたことを確認します。また、インターネットに接続する場合は、「TCP/IP」プロトコルがインストールされていることを確認します。



・TCP/IPプロトコルがない場合は、手順 **2** ~ **4** を参考にして追加します。

- 6** もう一度、「ネットワーク」画面で **追加** ボタンをクリックします(手順 **2** 参照)。

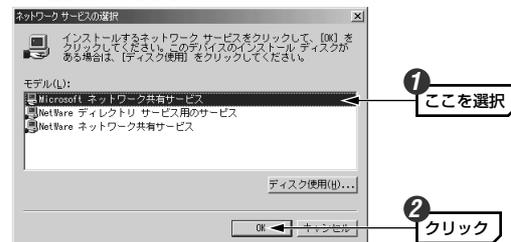
・「ネットワーク構成ファイルの追加」画面が表示されます。

- 7** インストールするネットワークコンポーネントとして「サービス」を選択し、

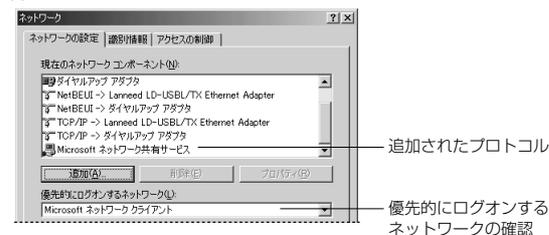
追加 ボタンをクリックします。



- 8** モデルとして「Microsoftネットワーク共有サービス」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



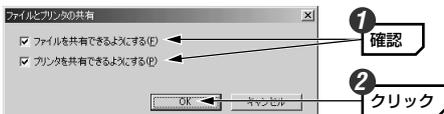
- 9** サービスが追加されたことを確認します。また、[優先的にログオンするネットワーク]が「Microsoftネットワーククライアント」になっていることを確認します。



- 10** **ファイルとプリンタ共有** ボタンをクリックします。

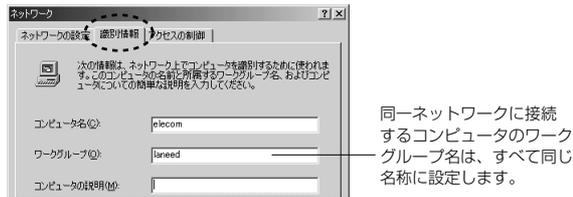


- 11** 「ファイルを共有・・・」「プリンタを共有・・・」の両方を有効()にし、**OK** ボタンをクリックします。



・チェックボックスをクリックすると有効/無効が切り替わります。

- 12** **識別情報** タブをクリックします。



- 13** 内容を確認し、正しければ **OK** ボタンをクリックします。

・変更が必要な場合は[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力します。
 ・項目の意味については、25ページの「MEMO」を参照してください。

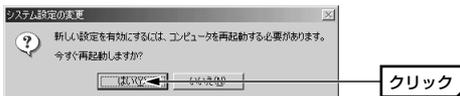
- 14** ディスク挿入を促すメッセージが表示されたときは、Windowsのディスクを挿入し、**OK** ボタンをクリックします。



・表示されたメッセージに対応したOSのディスクを入れます。
 ・Windows 98には「Windows 98 CDROM」と「Windows 98 SECOND EDITION CDROM」がありますのでご注意ください。

MEMO ディスクを挿入したドライブを指定する画面が表示されたときは、27ページの手順 **7** のMEMOを参考に指定します。ドライブ名のあとに、Windows 98なら「WIN98」ディレクトリを、Windows Meなら「WINME」ディレクトリを指定し、**OK** ボタンをクリックしてください。

- 15** 再起動を確認するメッセージが表示されますので **はい** ボタンをクリックします。

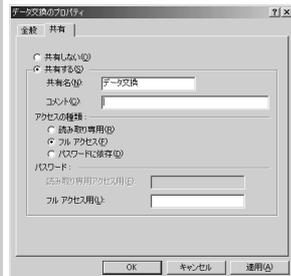


- 16** 再起動すると設定した内容が有効になります。これでピア・ツー・ピアのネットワーク設定は完了です。なお、同じネットワークに接続されるコンピュータはすべて同じ設定をする必要があります。

MEMO

ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定をおこなってください。

■ファイル共有の画面例



- ①共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックで選択し、メニューを表示します。
- ②メニューから[共有]を選択します。
- ③「共有する」を有効にし、必要な事項を設定します。

9 Windows 2000でのセットアップ

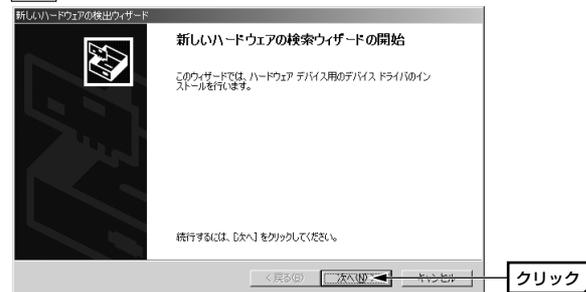
Lanlead

Windows 2000にドライバをインストールする方法とネットワークを共有するために必要な設定例について説明します。

ドライバのインストール

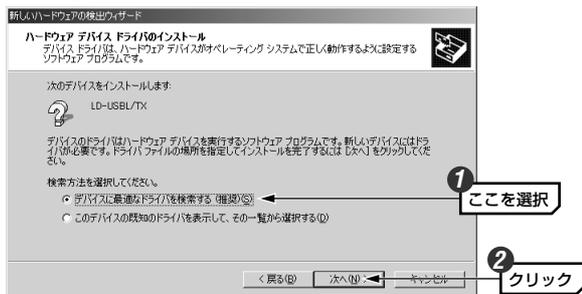
はじめて使用するときには、ドライバのインストール作業が必要です。Windowsを起動した状態で本製品をコンピュータに接続すると、WindowsのシステムがUSBドライバのインストールメッセージを表示します。手順に従ってドライバをインストールしてください。

- 1 本製品をはじめてコンピュータに接続したときに、新しいハードウェアの検索ウィザードが表示されます。
- 2 **次へ** ボタンをクリックします。



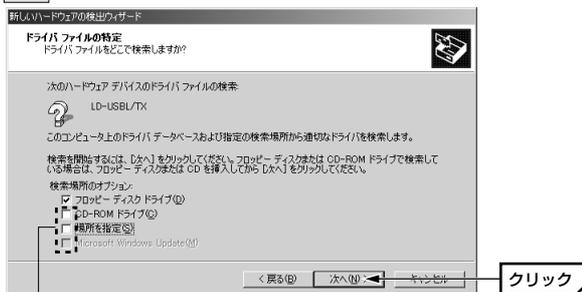
- ・ 検索方法を選択する画面が表示されます。

- 3** 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



- 4** 本製品に付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブに入れます。

- 5** 「検索場所のオプション」で「フロッピーディスクドライブ」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



他の検索場所にチェックが入っている場合は、チェックをはずします。

- 6** 見つかったドライバ名に「a:\%ldusbl.inf」と表示されていれば、**次へ** ボタンをクリックします。

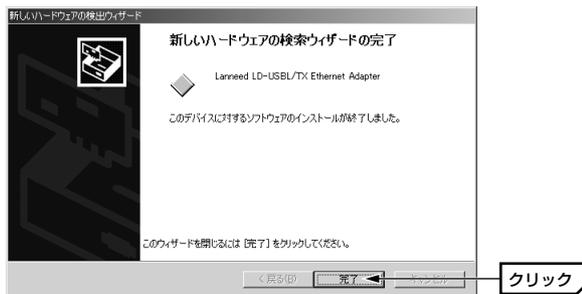


MEMO インストールディスクを指定する画面が表示された場合は、「製造元のファイルコピー元」に「a:\%」を指定してください。

- 7** 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されます。**はい** ボタンをクリックし、インストールを続行します。



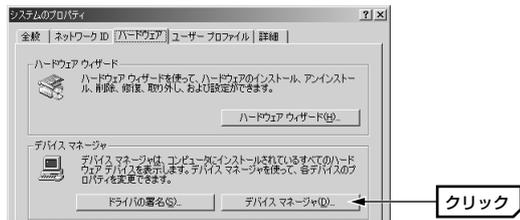
- 8 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されますので、**完了** ボタンをクリックします。



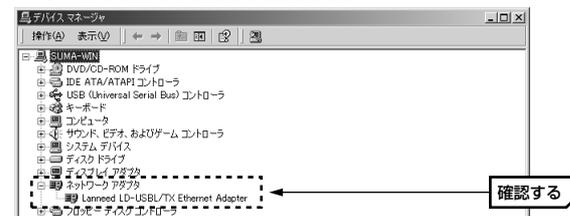
・フロッピーディスクをドライブから取り出して大切に保管してください。

- 9 次の手順でデバイスマネージャを表示します。

- ①デスクトップにある「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。
- ②【ハードウェア】タブを選択し、**デバイスマネージャ** ボタンをクリックします。



- 10 「ネットワーク」の **+** をクリックし、「Lanreed LD-USBL/TX Ethernet Adapter」が表示されることを確認します。



・他の名称が表示されたり×マークや！マークが付いているときは正常にインストールが完了していません。48ページ「こんなときは」をお読みください。

これでWindows 2000への本製品の導入は完了です。このあと、お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定をおこなってください。

次ページからWindows 2000でのネットワークの設定例について説明していますので参考にしてください。

ネットワーク設定例

基本的なネットワークでの設定例を説明します。CATVインターネットなどのブロードバンドでモデムと接続するために本製品を使用する場合は、契約プロバイダの説明書をお読みください。間違った設定をおこなうと不正アクセスの原因になります。

Windows 2000にはAdministrator権限でログオンしておきます。

- 7 [スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を開きます。

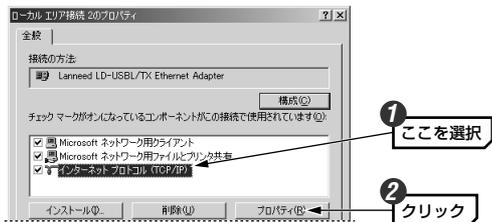
・〈ネットワークとダイヤルアップ接続〉画面が表示されます。

- 2** [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。

・〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。

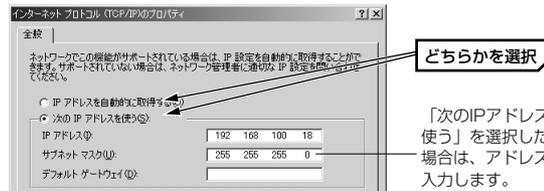
MEMO [ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面に表示されるアダプタ名から、ネットワークを設定するアダプタであるかを確認してください。

- 3** [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、**プロパティ** ボタンをクリックします。



・〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面が表示されます。

- 4** IPアドレスに関する設定をします。



「次のIPアドレスを使う」を選択した場合は、アドレスを入力します。

- DHCPサーバ(機能)を使用している場合
「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

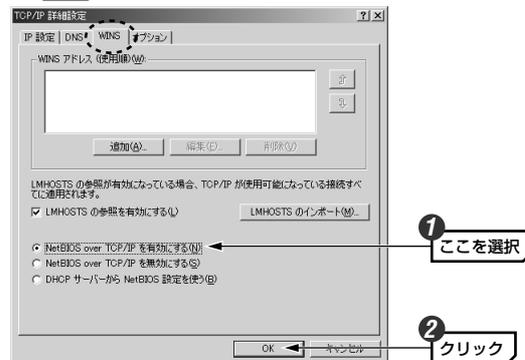
- DHCPサーバ(機能)を使用していない場合
「次のIPアドレスを使う」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。「デフォルトゲートウェイ」と「DNSサーバ」はルータなどを使用してLANを超える場合に使用する項目ですのでここでは入力していません。

- 5** IPアドレスの設定が終われば、**詳細設定** ボタンをクリックします。



・〈TCP/IP詳細設定〉画面が表示されます。

- 6** [WINS] タブで、「NetBIOS over TCP/IPを有効にする」をオン()にし、**OK** ボタンをクリックします。



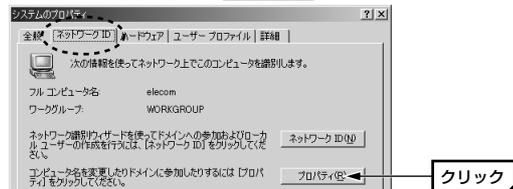
・〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面に戻ります。

7 <インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ> 画面→ <ローカルエリア接続のプロパティ> 画面で、それぞれ **[OK]** ボタンをクリックして画面を閉じます。さらに <ネットワークとダイヤルアップ接続> 画面を閉じます。

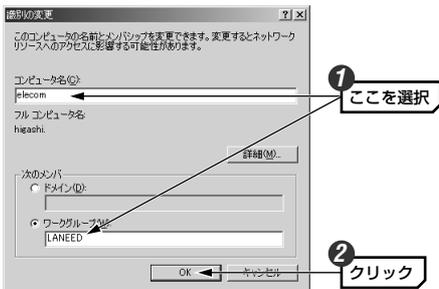
8 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[システム]アイコンを開きます。

・ <システムのプロパティ> 画面が表示されます。

9 [ネットワークID] タブで、**[プロパティ]** ボタンをクリックします。



10 コンピュータ名とワークグループ名を設定し、**[OK]** ボタンをクリックします。



・表示されているコンピュータ名とワークグループ名から変更する必要がない場合は、**[キャンセル]** ボタンをクリックします。

11 名称を変更すると次のようなメッセージが表示されます。それぞれ **[OK]** ボタンをクリックします。

◆ワークグループだけを変更した場合

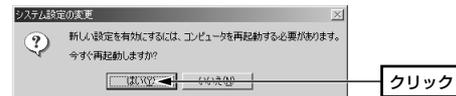


◆コンピュータ名または両方の名称を変更したとき



12 <システムのプロパティ> 画面で、**[OK]** ボタンをクリックします。

13 設定を変更した場合は、再起動を促すメッセージが表示されますので **[はい]** ボタンをクリックします。



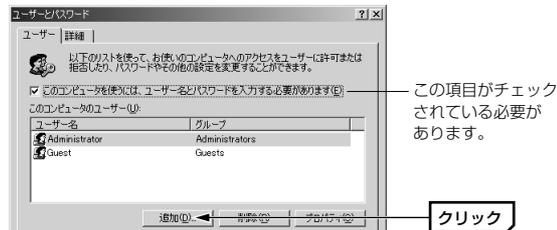
これで基本的なネットワーク設定は完了です。このほか、同じ要領で実際の環境に合わせた設定をおこなってください。

ユーザアクセス権の設定

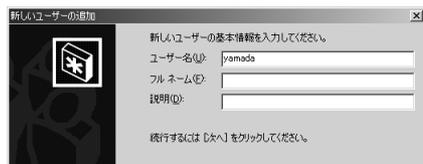
Windows 2000をインストールしたコンピュータにアクセスできるようにするには、あらかじめ、アクセスを許可するユーザを登録しておく必要があります。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルにある[ユーザーとパスワード]を開きます。

2 〈ユーザーとパスワード〉画面が表示されますので、**追加** ボタンをクリックします。



3 このあとは、ウィザードのメッセージに従って、新しいユーザを登録します。



4 登録が完了すると、登録したユーザのアクセスが許可されるようになります。

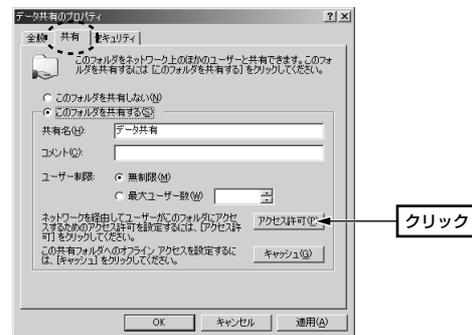
共有フォルダの設定

Windows 2000上のフォルダドライブにアクセスできるように共有設定をおこないます。Windows 2000はWindows NT 4.0と同じように、アクセス権の設定がWindows Me/98に比べて詳細になっています。また、NTFSフォーマットでドライブをフォーマットしている場合は、さらにセキュリティ設定が必要になります。

1 共有したいフォルダを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。

・フォルダのプロパティが表示されます。

2 [共有] タブで「このフォルダを共有する」をオンにし、**アクセス許可** ボタンをクリックします。



3 このあとは、必要に応じてフォルダに対するアクセス権を設定してください。なお、NTFSフォーマットの場合は、[セキュリティ] タブでアクセス権を設定することをお勧めします。

Windows Me/98/2000におけるアダプタのプロパティにある詳細設定について説明します。初期値は一般的に最適な状態に設定されていますので、通常は変更しないでください。

■Windows Me/98でのプロパティの表示方法

- ① [コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンを開きます。
- ② <ネットワーク> 画面の【ネットワークの設定】タブで” Laneed LD-USBL/TX Ethernet Adapter”を選択し、ボタンをクリックします。
- ③ 【詳細設定】タブを選択すると、設定画面が表示されます。

■Windows XP/2000でのプロパティの表示方法

- ① Windows XPでは[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]を開きます。Windows 2000では[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を開きます。
- ② [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。[ローカルエリア接続]の名称は環境によって変わります。
- ③ **構成** ボタンをクリックします。
- ④ 【詳細設定】タブを選択すると、設定画面が表示されます。

◆Windows Meでの <詳細設定> 画面



Windows 98/2000でも項目の内容は同じです。

■設定項目の内容 (Enable=有効/Disable=無効)

●Flow Control(初期値=Disable)

フロー制御の有効/無効を設定します。

●Flow Control Base RX Size(初期値=Disable)

フローコントロール使用時に基本となるウィンドウサイズを一覧から指定します。

●Flow Control Base TX Size(初期値=Disable)

本製品はこの機能をサポートしていませんので「Disable」のまま変更しないでください。

●Link Status Wakeup(初期値=Enable)

この項目を有効にすると、他のコンピュータからWOL(Wake on LAN)パケットを受け取った場合や、リンク可能なネットワークに接続した場合にWakeUpするようにします。

●Magic Packet(初期値=Enable)

マジックパケットを使用可能にします。マジックパケットを受信したり、マジックパケットを送信するソフトを使用する場合に有効にします。

●Media Type(初期値=AutoSense)

接続先のメディアタイプを指定します。「AutoSense」に設定しておく、メディアタイプを自動的に判別します。

●Select Media(初期値=AutoSense)

接続するネットワークの種類を指定します。「AutoSense」に設定しておく、ネットワークの種類を自動的に判別します。

●Test Mode(初期値=Mode2)

本製品はこの機能をサポートしていませんので「Mode2」のまま変更しないでください。

共通のトラブル

●LINKランプが点灯しない。

①HUBなどにケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

HUBに接続している場合、ストレートケーブルで接続していますか？

コンピュータ本体どうしを直結している場合、クロスケーブルで接続していますか？

②ケーブルの接続などに問題がない場合はデバイスマネージャなどで本製品の設定を確認してください。

Windows XP → 12ページ 手順 **6 7** 参照

Windows Me/98 → 22ページ 手順 **6 7** 参照

Windows 2000 → 38ページ 手順 **9 10** 参照

●正常にインストールできたのにネットワークを認識しない。

①すでに起動しているコンピュータに本製品を接続していませんか。「Microsoftネットワーク共有サービス」を使用しているときは、コンピュータの電源を入れる前に(Windows 98を起動する前に)、本製品をコンピュータ本体などのUSBポートに接続しておいてください。起動後に、本製品を接続するとドライバはインストールされますが、マイクロソフト共有ネットワークサービスが利用できない状態になっているため、ネットワークを認識することができません。この場合は、[スタート]→[○○○○]のログオン[○○○○]はユーザー名)を選択して、ネットワークへのログオンをやり直してください。

②ドライバをインストールしたあとに、ネットワークの設定をしましたか。[コントロールパネル]にある[ネットワーク]で必要な設定をおこなってください。このマニュアルの「ピア・ツー・ピアでの設定例」を参考にしてください。

●電源不足のメッセージが表示される。

セルブパワーモードで動作するUSB機器を複数接続していると、電源不足が起こります。複数のUSB機器を接続している場合は、USB機器の数を減らしてください。

●インターネットに接続できない

①TCP/IPプロトコルが設定されていかなを確認してください。

〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

②TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。

プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

③プロバイダから提供された情報をすべて設定しているかを確認してください。

IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークコンピュータを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

・Windows XP上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法

→ 12ページ 手順 **6 7** 参照

・Windows Me/98上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法

→ 22ページ 手順 **6 7** 参照

- ・Windows 2000上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法
→ 38ページ 手順 **9** **10** 参照

Windows Me/98環境でのトラブル

- Windows 98で本製品の設定をおこなった場合にCD-ROMを要求されてしまう。

ネットワークの設定に必要なファイルは、弊社提供のドライバの他にWindows 98側で提供されるファイルも含まれています。このような場合は、表示されるメッセージに従って、Windows 98のCD-ROMをドライブにセットし、そのドライブの「WIN98」ディレクトリをパスとして指定してください。

例：CD-ROMドライブがDドライブの場合→D:¥WIN98

※Windows 98プリインストール(最初からインストールしてある)の機種に関してはパスの指定をc:¥Windows¥Options¥Cabs に変更してください。インストールできない場合は、コンピュータ本体のメーカーにおたずねください。

- Windows Me/98でネットワークに接続したが、ファイルやプリンタの共有ができない。

ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。

- ①[ネットワークコンピュータ]→[プロパティ]→「ネットワーク構成の一覧」に「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれているかを確認してください。組み込まれていない場合は[ファイルとプリンタの共有]のチェックボックスをクリックして、チェックし、**OK** ボタンを押してください。

- ②共有したいフォルダやプリンタに共有設定をおこなっているかを確認してください。共有の方法は次のようにしてください。
 - ・共有したいフォルダやプリンタのアイコンを右クリックしてメニューを表示します。
 - ・共有という項目を選択し、「共有しない」になっている設定を「共有する」に変更して **OK** ボタンをクリックしてください

Windows XP/2000環境でのトラブル

- ネットワーク設定ができない。
Administrator権限でログオンしていますか。ネットワークの各種設定にはAdministrator権限がないと設定できない項目があります。

- 利用者がWindows XP/2000をインストールしたコンピュータにアクセスできない。

- ①利用者がアクセスを許可するユーザとして登録されていますか。このマニュアルの44ページを読んで登録されているか確認してください。
- ②利用者が共有フォルダにアクセスできるように設定していますか。また、アクセス内容を正しく設定していますか。NTFSフォーマットのハードディスクの場合は、さらにセキュリティ設定でも利用者を登録しておく必要があります。このマニュアルの45ページを読んで正しく設定されているかを確認してください。

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報に関しては、FAX情報、インターネットでも提供しております。なお、サポートサービスを受けるためには、必ずユーザ登録をおこなってください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3444-5571 FAX : 03-3444-8205

受付時間：月～金曜日 9:00～12:00 13:00～18:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット

<http://www.elecom.co.jp>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000	大阪：06-6455-6000
名古屋：052-453-6000	福岡：092-482-6000
札幌：011-210-6000	仙台：022-268-6000
広島：082-223-6000	

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えてご連絡ください。

保証期間内

まずは、上記のラニード・サポートセンターまで電話またはFAXでご連絡ください。

保証期間外

東京都八王子市子安町3-5-2 セキエレクトロニクス株式会社内
エレコム修理センター
電話番号 0426-31-0271 FAX番号 0426-31-0272
受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
(ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日は除く)
※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの48ページ「11.こんなときは」をお読みになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能の場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをご確認ください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ：
使用しているOS：
使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番)：
ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成：
ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等)：

●具体的な現象について

具体的な現象：
事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください)：

商品名	USBポート対応10/100Mbpsイーサネットアダプタ
製品型番	LD-USBL/TX
メディアタイプ	10BASE-T 100BASE-TX
伝送速度	10Mbps, 100Mbps
ケーブル規格	IEEE802.3標準
インターフェイス	USB1.1(コネクタ:Bタイプ)、バスパワーモード
LED	Link/Act
適合規格	FCC Part15 Class B, CEマーキング, VCCI第二種情報処理装置にそれぞれ準拠
消費電力	1.58W(最大)
動作温度	0~55℃
動作湿度	10~90%(結露なきこと)
対応機種	PC/AT互換機(DOS/Vマシン)および NEC PC98-NXシリーズでUSBポートを持つ機種 (自作機は除く)
対応OS	Windows XP, Windows Me, Windows98, Windows 2000
付属品	ドライバディスク(1枚), ユーザーズマニュアル, ユーザ登録カード、保証書

USBポート対応10/100Mbpsイーサネットアダプタ

LD-USBL/TX

ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社

2002年8月30日 第2版